



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 日本精蠟株式会社

コード番号 5010 URL <http://www.seiro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 寛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 細田 八朗

TEL 03-3538-3061

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	9,501	△12.5	69	△85.1	11	△97.7	40	△87.1
25年12月期第1四半期	10,853	23.6	467	—	503	—	310	47.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	2.22	—
25年12月期第1四半期	15.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	31,484	11,323	36.0
25年12月期	30,600	10,919	35.7

(参考)自己資本 26年12月期第1四半期 11,323百万円 25年12月期 10,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,700	△11.7	200	777.4	140	129.5	80	147.1	4.21
通期	34,300	△13.3	500	67.0	400	45.3	200	△48.6	10.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	22,400,000 株	25年12月期	22,400,000 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年12月期1Q	3,110,905 株	25年12月期	4,925,412 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	18,059,235 株	25年12月期1Q	19,985,588 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成26年1月1日～平成26年3月31日)のわが国経済は、混迷するウクライナ情勢、中国をはじめとするアジア経済の成長鈍化、ユーロ圏経済の回復遅れ等不透明な状況の中、政府の各種政策と日銀の金融緩和政策により円安や株高基調が継続し、輸出関連企業および内需企業の一部の業績改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、原油相場は米国WTI原油が90ドル/バレル台から100ドル/バレル台で推移したのに対し、東南アジア産原油は需給のタイト化を背景に110ドル/バレル前後で推移しました。また、外国為替相場は年初の104円/ドル台前後から3月末にかけて102円/ドル台前後で推移しました。

東南アジア産原油が高止まりする状況の中で、原料コスト上昇分を吸収すべく効率生産、採算販売、コスト低減およびワックス価格の改定など売上高の拡大と収益の改善に努めましたが、中国品との競争激化によりワックス販売は前年同期に比較して販売数量では4,496トン減の15,012トン、販売高では210百万円減の4,261百万円の実績、火力発電用需要の落ち込みにより重油販売は販売数量では22,628キロリットル減の63,997キロリットル、販売高では1,163百万円減の5,179百万円の実績となりました。

これにより、当第1四半期累計期間の実績は、前年同期に比較して売上高ではその他商品を含めて1,351百万円減の9,501百万円、利益面では原料価格の大幅な上昇により営業利益で397百万円減の69百万円、経常利益で491百万円減の11百万円、四半期純利益で270百万円減の40百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比較して883百万円増加の31,484百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加額1,567百万円、たな卸資産の増加額227百万円に対して、受取手形及び売掛金の減少額854百万円、投資その他の資産の減少額45百万円等によるものです。これに対して負債合計は、前事業年度末に比較して479百万円増加の20,160百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加額3,260百万円に対して、短期借入金の減少額2,168百万円、長期借入金の減少額496百万円、未払法人税等の減少額166百万円等によるものです。また、純資産合計は、前事業年度末に比較して404百万円増加の11,323百万円となりました。これは自己株式の減少額458百万円、利益剰余金の減少額47百万円によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、中国および新興国の成長減速懸念に加え、原油相場や為替相場の動向、消費税率引き上げによる国内景気の動向等引続き不透明な状況が続くものと予想されます。このような状況の中で、2月に伊藤忠商事株式会社と資本・業務提携を締結、3月に取引先のアジアシフトに対応するためタイ現地法人を設立するとともに、引続き効率生産、採算販売、コスト低減等を基本に売上高の拡大と収益の改善に注力し、併せて経営方針に掲げる「事業環境の変化に対応できるビジネスモデルの構築と推進」をはじめとする経営諸課題に引続き取り組んでまいります。

平成26年2月14日に公表いたしました業績予想につきましては、現時点では変更ございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	350	1,918
受取手形及び売掛金	4,901	4,047
商品及び製品	6,152	6,778
原材料及び貯蔵品	4,168	3,769
その他	468	477
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	16,037	16,987
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,419	9,419
その他(純額)	4,428	4,420
有形固定資産合計	13,848	13,840
無形固定資産	219	205
投資その他の資産	496	450
固定資産合計	14,563	14,496
資産合計	30,600	31,484
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,121	4,382
短期借入金	8,659	6,490
未払法人税等	228	62
賞与引当金	35	105
修繕引当金	163	233
その他	1,472	1,425
流動負債合計	11,681	12,701
固定負債		
長期借入金	4,337	3,840
再評価に係る繰延税金負債	3,053	3,053
退職給付引当金	98	108
その他	511	457
固定負債合計	8,000	7,459
負債合計	19,681	20,160
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,120	1,120
資本剰余金	14	25
利益剰余金	5,423	5,375
自己株式	△1,245	△786
株主資本合計	5,311	5,734
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40	22
土地再評価差額金	5,566	5,566
評価・換算差額等合計	5,607	5,589
純資産合計	10,919	11,323
負債純資産合計	30,600	31,484

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	10,853	9,501
売上原価	9,881	8,875
売上総利益	971	626
販売費及び一般管理費	504	556
営業利益	467	69
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	53	54
為替差益	72	-
その他	19	11
営業外収益合計	146	65
営業外費用		
支払利息	49	45
為替差損	-	23
固定資産賃貸費用	45	48
その他	14	5
営業外費用合計	110	123
経常利益	503	11
特別利益		
国庫補助金	-	58
特別利益合計	-	58
特別損失		
固定資産除却損	9	0
特別損失合計	9	0
税引前四半期純利益	493	69
法人税等	183	29
四半期純利益	310	40

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

当社は、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

当社は、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。